

文化・芸術の催し

美術博物館の催し

5月19日(土)・20日(日)は観覧料無料の日

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/FAX38-5434(〒659-0052 伊勢町12-25)

芦屋市立美術博物館

検索



万葉のシーズン(season)
—奈良県立万葉文化館 季節のコレクション—

● ギャラリートーク

- 日時 4月29日(日)
5月13日(日)各日午後2時～3時
- 会場 展示室
- 内容 担当学芸員による展示解説
- 参加費 要観覧料



上村淳之《佐保の詩》平成10(1998)年 奈良県立万葉文化館蔵



絹谷幸二《大和国原》平成9(1997)年 奈良県立万葉文化館蔵

● ホールコンサート

「耳に届ける万葉の四季」

- 日時 5月6日(日)午後2時～3時30分
- 会場 1階ホール
- 出演 前田伊都子
MODERN CLASSIC ENSEMBLE
- 定員 80人
- 参加費 要観覧料

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日)

【観覧料】一般1,000(800)円、大高生700(560)円、中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金 ※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

2018春 ART MARKET あしやつくる場

当館の前庭で手づくり市やワークショップを開催する「ART MARKETあしやつくる場」。会場では手づくり品や食品、古書の販売ブースの他、ワークショップや音楽演奏を予定。大人も子どもも楽しめる2日間です。

- 日時 5月19日(土)・20日(日)午前10時～午後4時
- 会場 当館前庭
- ※雨天中止、一部雨天実施の催しもあり(中止の場合は当日の朝、当館のホームページでお知らせ)

2017年秋開催時の様子



谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244
(〒659-0052 伊勢町12-15)

芦屋市谷崎潤一郎記念館

検索



【ロビーギャラリー】藤原次郎写真展「陰翳礼讃」

- 会期 4月25日～6月3日
※最終日は午後3時まで
- 会場 ロビーギャラリー
- 内容 日本の美の本質を問いかけてきた写真家・映像作家が、谷崎潤一郎の随筆「陰翳礼讃」をふまえ、光と陰の綾なす世界をお見せします。
- 参加費 要観覧料



「松凧」2018



【ギャラリートーク】藤原次郎対談「日本的とは」

- 日時 4月29日(日)・5月13日(日)各日午後2時～3時30分
- 会場 講義室
- 内容 ロビーギャラリー展を開催中の藤原次郎氏がゲストを迎えて語り合います。4月29日(日)は建築家の石丸信明氏・5月13日(日)は日本画家の山田毅氏が登場します。
- 定員 各回30人(申し込み不要)
- 参加費 要観覧料

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般400(320)円、大・高生300(240)円、中学生以下無料
※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

【現地講座】谷崎の愛した京の豪邸

- 日時 5月11日(金)・23日(水)各日午前10時20分または午前11時20分(京都・京阪出町柳駅前6号出口集合)
- 内容 谷崎潤一郎が暮らし、「潤一郎新訳源氏物語」「少将滋幹の母」などを執筆した京都の邸宅「潺湲亭」を散策しながらレクチャーを聞き、京料理の老舗「下鴨茶寮」で春の味覚を楽しみます。通常は非公開の邸宅を特別に見学できる貴重な機会です。
- 定員 各日26人
- 解説 谷崎潤一郎記念館学芸員ほか
- 受講料 8,000円(食事代含む、交通費は自己負担)
- 申し込み 上記へ



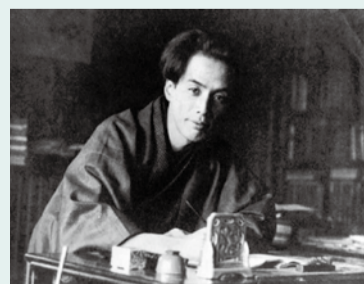
潺湲亭

第9回芦屋文学サロン 文藝春秋社・前社長平尾隆弘氏を招いて
講演会「芥川賞と直木賞のすべて ～藤本義一・村上龍から朝井まかて・姫野カオルコまで」

- 日時 7月14日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)
- 会場 ルナ・ホール
- 入場料 前売り 1,000円/当日 1,200円(全席自由席)

- 前売開始 4月16日(月)
- チケット販売所 市民センター事務所、市役所売店
ローソンチケット(Lコード:51410)

問い合わせ ルナ・ホール事業担当 ☎35-0700



芥川龍之介

CC BY-SA 4.0